

会

派

の

意

見



文責は各会派にあります

## 公明党

公明党は、12月定例会に提出された令和2年度一般会計補正予算、長岡京市新庁舎等建設工事請負契約など20議案について、議論を重ね慎重に審査した結果、全ての議案に賛成いたしました。

一般質問では、長期に渡るコロナ禍で市民生活や社会経済に大きく影響を落とす中、財政調整基金を財源として、全市民に配布された「新しい生活様式応援券」の反響と経済効果について、「新型コロナウイルス

クチン」が供給された時の接種体制の準備と、対象者への接種方法や周知方法などについて質問しました。

また、選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書と、不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書を提案し、2件とも可決されました。

閉会日には、市民の皆様からのご意見やご要望等を6分野・97項目にまとめた令和3年度予算要望書を中小路市長に提出いたしました。

公明党は、これからも現場の声を第一に、党のネットワークを生かして、皆様の暮らしと命を守るための対策に全力で取り組んでまいります。

## 平成自由クラブ

令和二年十二月定例会では、私立幼稚園幼児教育振興助成に関する請願、水稲の病害虫による被害を防ぐための農家支援施策を検討することを求める請願の二件が全会一致で採択されました。請願内容が実現できる様、更に議論を重ねてまいります。議案では、公の施設の指定管理者の指定や、補正予算などについて審議しました。中でも、平成二十八年から検討が進められてきた長岡京市新庁舎等建設工事請負契約について

は、落札候補者が低入札価格調査制度運用基準に定める調査対象となつたため、落札業者が適正であるか、慎重に審議をいたしました。

また、新庁舎等建設工事が円滑に行われ、市民の満足が得られる庁舎となるよう、設計に基づき施工管理の徹底をすること、工事費や工期の監理、監督を徹底すること、品質管理や安全管理の点検・確認を徹底すること、地域社会への貢献が積極的に行われるよう働きかけることを決議しました。今後とも安心安全なまちづくりを目指してまいります。

八木 浩・富岡浩史・小野洋史

## 日本共産党

**感染拡大防ぎ、市民を守る施策を！**

重症者を増やさず医療体制を守るには、医療・福祉施設などでの定期的な全員検査で、陽性者を早期発見しクラスターを未然に防ぐことが不可欠です。市として関係機関と協議することや、市民への親身な情報提供、相談活動を強く求めました。

さらに「PCR検査拡充、保健所強化」「持続化給付金などの再支給、消費税時限減税」「少人数学級」などを市議会として国に求める意見書を

提案し、いずれも可決でした。

新庁舎等建設工事請負契約の議案については、建て替え自体は必要と考えますが、庁舎部分だけで現庁舎の1.5倍の規模であり、総事業費で百億円を超えることは、広報にも書かれず市民の合意を得たとは言えません。また、開田保育所跡地を民間収益施設にする方針も市民不在です。他の市町のコンパクトな庁舎の事例も示しながら反対討論しました。

阪急バスの減設計画や、指定ごみ袋制度なども取り上げました。  
日本共産党に、ご意見・ご相談をいつでもお気軽にお寄せください。

## 輝(かがやき)

令和2年12月定例会では、約14億円を追加し、歳入歳出を約398億円とする一般会計補正予算が可決されました。また、総合評価方式による新庁舎等建設工事請負契約について、87億8千万円で締結することが可決されました。新庁舎建設は、トラス筋デッキや地盤アンカーの効果的、効率的な技術提案と労務の増員や複数作業の同時並行で工期短縮が図られ、当初想定されていた100億円の工事費用が削減されたことに

加えて、安全、品質、環境など監督体制の強化についても対応される内容となっています。

その他、公立小中学校に通う生徒へ、一人一台のタブレット導入に向け約3億円、台数にして4840台を取得することが可決されました。これにより、全生徒分のタブレットを確保する準備が整いました。将来を担う子どもたちが鉛筆や消しゴムのようにタブレットを使いこなし、超情報化社会を乗り越えられる環境整備を引き続き訴えて参ります。

進藤裕之・大伴雅章・綿谷正己  
富田達也・宮小路康文

## 平成市民クラブ

12月議会では、市役所新庁舎等建設工事請負契約について、慎重審議しました。市庁舎の再整備基本構想・基本計画・基本設計・実施設計策定の度に議論を積み重ねたことを踏まえ、工事発注や業者選定について質しました。そして、建設工事請負契約に関して決議案を発議し、落札業者との契約締結において、工事が円滑に行われること、地域社会への貢献等、市民の満足が得られることを求めました。

阪急長岡天神駅周辺整備については、駅東側の補助幹線道路や駅前広場の施設の配置計画・用地確保に努めるとの答弁を得ました。また、本市人口ビジョンと関連したシティアプローチ展開については、一過性にせず、定住人口増加など関係人口拡大を目指すとの説明を受けました。そして、新型コロナ感染症拡大の状況から、感染防止対策費などを増額する補正予算案に対しては、積極的な執行を要望しました。

今後も市民の安全安心な暮らしに向けた「まちづくり」を進めます。

三木常照・中小路貫司

## 平成西山クラブ

既に新型コロナウイルスはこれまでの生活を一変させ、地域経済に深刻な痛みをもたらしています。そのような中、十二月議会では、令和二年度長岡京市一般会計補正予算など、二十の議案についての審議が行われ、全ての議案が可決されました。共生型福祉施設構想の早期具体化、農工商への経済支援、高齢者の虚弱化・認知症への効果的な施策、市役所庁舎建て替え、中心市街地の整備検討、子育て支援や小中学校情報通信環境

の整備など、必要とされる施策にきめ細やかに対応していただくことを要望しました。

新型コロナウイルス感染症による市民生活への影響は看過できないものであり、誰も正解が分からないコロナ危機では、従来型の行政手法だけでは市民の安心な生活を支えることは難しくなっています。この難局を乗り越えるための支援施策を実施していただく一方、私たちは世の中の変化を感じ取りながら、新型コロナウイルス終息後の時代に備えていかなければなりません。

上村真造・白石多津子・田村直義

会派とは同じ意見や考えを持つ議員が集まってつくるグループのことです。ここでは12月定例会で審議された内容について、各会派の意見を紹介します。

